

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

所属	0135400000		健康づくり課			前々年度決算額		前年当初額		要求額		査定額		増減額		出力段階		現段階		
会計	01	一般会計					885,191		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012		目的	20 衛生費		
款	04	衛生費					832,813		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012			05 保健衛生費		
項	01	保健衛生費					832,813		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012					
目	01	保健衛生総務費					353,759		367,051		403,752		376,647		9,596					
事業1	043	01040101					353,759		367,051		403,752		376,647		9,596		補単区分	単独		
事業2	010	健康づくり運動事業費					4,339		16,104		16,290		16,057		-47		臨経区分	経常経費		
事業3	001	健康づくり運動事業費					4,339		16,104		16,290		16,057		-47		主要事業	非主要		
事業性質区分	政策的経費事業		重点ヒアリング	対象外	主体区分	市	連結区分1					連結区分2					連結区分3			
新規継続	継続		ハード事業	ソフト事業	評価対象		事業区分1		2-3-1			事業区分2					事業区分3			

区 分	財 源 内 訳						計
	特 定 財 源					一般財源	
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料・手数料	その他		
前年度予算額	0	935	0	0	4,602	10,567	16,104
本年度予算額	0	935	0	0	324	14,798	16,057
増減額	0	0	0	0	-4,278	4,231	-4,047
構成比(%)	0.0	5.8	0.0	0.0	2.0	92.2	100.0

[illegible][illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	010	健康づくり運動事業費	事業 3	001	健康づくり運動事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市民との協働による健康寿命の延伸、生活の質の向上
- ・内容 健康増進法に基づく健康増進事業の実施
第5期秦野市健康増進計画の効果的な推進と評価のため、庁内連絡会及び検討委員会を設置
健康づくりの推進を図るためのボランティアを養成し、事業の一部を食生活改善推進団体へ委託
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくり
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 人生100年時代を迎え、市民が健康的な生活習慣を実践し、生涯にわたり心身ともに健康でいきいきと生活できる
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 健康増進法
- ・計画 第5期秦野市健康増進計画（健康はだの21）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 4,339千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 16,104千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 16,057千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 16,057千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度
 - ・健康教育（調理実習を含む）、健康相談等の実施
 - ・東海大学との協働事業の継続実施（地域巡回型健康測定会）
 - ・3か所の未病センターで協働による健康相談会等の実施
 - ・市公式YouTube料理動画の配信、レシピのHP掲載等、若い世代に向けた健康情報の発信
 - ・健康づくりボランティアの養成と活動支援
- ・令和7年度
 - ・秦野市電子地域通貨OMOTANコインを活用した健康ウォーキングポイント事業の本格実施
 - ・東海大学との協働事業の継続実施（地域巡回型健康測定会）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	010	健康づくり運動事業費	事業 3	001	健康づくり運動事業費

- ・ 未病センター（市内3か所）での健康測定会の実施
- ・ 健康づくりボランティアの養成と活動支援
- ・ 職域連携事業の推進に加え、事業所への出張健康教育の開催
- ・ 料理レシピのクックパッド配信や市内スーパーとの共催で健康支援イベントの開催
- ・ 水無川遊歩道沿い情報板の設置

- 4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）〔C〕
- ・ 青壮年期への健康支援の充実や職域連携事業の推進を図れつつある。
 - ・ 健康講座では対象年齢に上限を設定して実施したところ、集客に苦慮したことを踏まえ、事業所などの団体に
出向いて開催するなど臨機応変に対応できている。
 - ・ 今後も青壮年期のライフスタイルに応じた支援方法を検討する必要がある。

- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕
- ・ 秦野市電子地域通貨OMOTANコインを活用した健康ウォーキングポイント事業の利用者を促進
 - ・ 東海大学との協働事業として、イベント等青壮年期が集まる場所に出向き健康測定会を開催
 - ・ 料理レシピのクックパッド配信や食生活改善推進団体との協働による食を通じた生活習慣病対策の推進
 - ・ 働く世代への健康支援を目的に市内事業所や関係機関とのネットワークを構築し、職域連携を通じて推進
 - ・ 未病センター（市内3か所）での健康測定会の実施

- 6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

- (1) 増減理由

- ・ 水無川遊歩道沿い情報板の設置工事が終了したことにより減額

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・ 健康教育回数：令和6年度163回、令和5年度148回、令和4年度128回
- ・ 健康相談回数：令和6年度23回、令和5年度26回、令和4年度34回

- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕

第5期秦野市健康増進計画に基づき、市民の健康状況や意識等の実態及び課題を踏まえ、市民の実情に沿った取組を推進する。

- 8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

- (2) 自然災害対策への取組

該当なし

- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	010	健康づくり運動事業費	事業 3	001	健康づくり運動事業費

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

所属	0135400000		健康づくり課			前々年度決算額		前年当初額		要求額		査定額		増減額		出力段階		現段階		
会計	01	一般会計					885,191		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012		目的	20 衛生費		
款	04	衛生費					832,813		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012			05 保健衛生費		
項	01	保健衛生費					832,813		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012					
目	01	保健衛生総務費					353,759		367,051		403,752		376,647		9,596					
事業1	043	01040101					353,759		367,051		403,752		376,647		9,596		補単区分	単独		
事業2	020	救急医療事業費					156,124		178,825		208,329		202,574		23,749		臨経区分	経常経費		
事業3	001	休日夜間急患診療所運営費補助金					41,301		41,695		41,431		41,431		-264		主要事業	非主要		
事業性質区分	義務の経費事業		重点ヒアリング	対象外	主体区分	市	連結区分1					連結区分2					連結区分3			
新規継続	継続		ハード事業	ソフト事業	評価対象		事業区分1		2-3-4			事業区分2					事業区分3			

区 分	財 源 内 訳						計
	特 定 財 源					一般財源	
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料・手数料	その他		
前年度予算額	0	3,644	0	0	0	38,051	41,695
本年度予算額	0	3,668	0	0	0	37,763	41,431
増減額	0	24	0	0	0	-288	-264
構成比(%)	0.0	8.9	0.0	0.0	0.0	91.1	100.0

[illegible]

歳入科目款-細々節/所属/編成区分 名 称		充 当 額
特 定 財 源 の 内 訳	16-02-03-01-11/0135400000/0505 小児救急医療対策費補助金（補助率 1／2）	3,668
	計	3,668

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	020	救急医療事業費	事業 3	001	休日夜間急患診療所運営費補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 救急医療対策事業実施要綱（厚生労働省）の規定に基づき、休日及び平日夜間に実施する一次救急医療体制を確保する。
- ・内容 一般社団法人秦野伊勢原医師会が秦野市休日夜間急患診療所において実施する一次救急医療（応急処置的な医療と比較的軽症な救急患者を対象）に対して補助を行う。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 秦野市休日夜間急患診療所の運営費を一部補助することで、医師会は救急医療体制の確保に必要な医師等必要人員を配置し、日曜、祝日などの休日や夜間における救急時でも市民は診療を受けることができる。
- ・目標値 365日の救急医療体制の確保

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 第8次神奈川県保健医療計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :

・令和6年度決算	事業費（進捗率）：41,301千円	実施状況	：休日昼夜間 72日 平日夜間 293日
・令和7年度予算	事業費（進捗率）：41,695千円	実施状況	：休日昼夜間 73日 平日夜間 292日
・令和8年度予算	事業費（進捗率）：41,431千円	実施状況	：休日昼夜間 73日 平日夜間 292日
・令和9年度以降	事業費（進捗率）：41,431千円	実施状況	：休日昼夜間 73日 平日夜間 292日

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 秦野市休日夜間急患診療所運営費補助金交付要綱に基づき、秦野伊勢原医師会に補助金を交付した。
- ・令和7年度 秦野市休日夜間急患診療所運営費補助金交付要綱に基づき、秦野伊勢原医師会に補助金を交付した。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

開業医数の減少及び医師の高齢化等により医師が不足する中、救急医療体制に配置できる医師の確保が必要。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

休日夜間における救急医療体制の確保のため、引き続き、補助金を交付する。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	020	救急医療事業費	事業 3	001	休日夜間急患診療所運営費補助金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

年末年始の2人体制日数の減に伴う減額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和6年度実績 休日昼夜間 72日 平日夜間 293日（年末年始二人体制日数：6日）

令和7年度見込 休日昼夜間 72日 平日夜間 293日（年末年始二人体制日数：8日）

令和8年度見込 休日昼夜間 72日 平日夜間 293日（年末年始二人体制日数：6日）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

地域医療の充実に向けて、引き続き、薬剤師会、歯科医師会及び関係機関と連携し、取り組んでいく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	020	救急医療事業費	事業 3	002	二次救急診療事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・ 目 的 医療機関が一般診療を行わない平日夜間及び休日に秦野市休日夜間急患診療所において、一次救急医療を受けた患者のうち、さらに診療を必要とする患者又は入院を必要とする患者の受け入れができる病院を確保する。
- ・ 内 容 二次救急（医療入院や手術を必要とする患者を対象）のうち、内科及び外科は一般社団法人秦野伊勢原医師会に委託し、医師会に加入している医師が属する医療機関の輪番で行い、小児科は秦野伊勢原ブロックの救急病院の輪番で行う。
- ・ SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・ 効 果 平日夜間及び休日における救急患者に対しても迅速かつ的確な診療を行うことができるようになる。
- ・ 目 標 値 365日の救急医療体制の確保

(3) 根拠法令・計画等

- ・ 根拠法令 該当なし
- ・ 計 画 第8次神奈川県保健医療計画

2 全体計画[P]

- ・ 全体計画 事業費 :
- ・ 令和6年度決算 事業費（進捗率）: 92,171千円 実施状況 : 休日昼夜間 72日、平日夜間293日
- ・ 令和7年度予算 事業費（進捗率）: 98,663千円 実施状況 : 休日昼夜間 73日、平日夜間292日
- ・ 令和8年度予算 事業費（進捗率）: 107,224千円 実施状況 : 休日昼夜間 73日、平日夜間292日
- ・ 令和9年度以降 事業費（進捗率）: 107,224千円 実施状況 : 365日の救急診療体制確保

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・ 令和6年度 ・ 内科及び外科は秦野赤十字病院、神奈川病院及び八木病院の輪番を軸に実施。小児科は伊勢原協同病院で実施。秦野赤十字病院の小児二次救急医療の輪番復帰に向け、関係機関との調整を図った。
- ・ 令和7年度 ・ 内科及び外科は秦野赤十字病院、神奈川病院及び八木病院の輪番を軸に実施。小児科は伊勢原協同病院で実施。
また、秦野赤十字病院が木曜日夜間行った小児二次救急医療の受け入れに対して補助を実施。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

開業医数の減少及び医師の高齢化等により医師が不足する中、救急医療体制に配置できる医師の確保が必要。
また、小児二次救急医療は、秦野赤十字病院が木曜日のみの受け入れを行っているものの、今後市内で受け入れ日を増や

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	020	救急医療事業費	事業 3	002	二次救急診療事業費

すための調整が必要。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

救急医療体制を維持・強化するため、医師確保に向けて関係機関と継続して協議を行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

医師会に委託している二次救急委託料の増額による増。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和5年度（実績）： 66,172,996円

令和6年度（実績）： 65,838,718円

令和7年度（予算）： 66,036,413円

令和8年度（予算）： 72,592,660円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

救急患者の受入体制を維持・強化するためには、医師の確保が必要であり、引き続き、関係機関と協議しながら救急医療体制を確保する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	020	救急医療事業費	事業 3	003	歯科休日急患診療所運営費補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 休日における歯科救急患者に対し、適切な歯科救急医療体制を確保する。
- ・内容 一般社団法人秦野伊勢原歯科医師会が歯科休日急患診療所において実施する歯科救急医療に対する補助。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 歯科休日急患診療所の運営費を一部補助することで、日曜、祝日などの休日における救急時でも市民が診療を受けることができるようになる。
- ・目標値 休日における救急医療体制の確保

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 第8次神奈川県保健医療計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：12,049千円 実施状況：休日 72日
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：12,215千円 実施状況：休日 73日
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：12,215千円 実施状況：休日 73日
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：12,215千円 休日の救急歯科医療体制の確保

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 秦野市歯科休日急患診療所運営費補助金交付要綱に基づき、秦野伊勢原歯科医師会に補助金を交付した。
- ・令和7年度 秦野市歯科休日急患診療所運営費補助金交付要綱に基づき、秦野伊勢原歯科医師会に補助金を交付した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

歯科休日急患診療所の認知度向上を図る取組を、市としても支援する。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

休日における救急医療体制の確保のため、引き続き、補助金を交付する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	020	救急医療事業費	事業 3	003	歯科休日急患診療所運営費補助金

増減なし

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和5年度実績 休日 73日

令和6年度実績 休日 72日

令和7年度見込 休日 73日

令和8年度見込 休日 73日

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

歯科医師会と連携して補助金の在り方について検討するとともに、引き続き、救急医療体制の確保を図る。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	020	救急医療事業費	事業 3	004	災害時医療対策費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 医薬品等の備蓄及び医療機器を整備することにより、災害時の医療対策の充実を図る。
- ・内容 災害時、市内5か所（末広小、西中、大根小、休日夜間急患診療所及び保健福祉センター）に設置する医療救護所内に発災後3日間に必要な量の医薬品等（主に外科系措置に適応できる医薬品）を備蓄する。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 各医療救護所に派遣されてくる医師等が迅速に応急処置及び治療行為ができるようになる。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 災害対策基本法
- ・計画 秦野市地域防災計画（地震災害対策計画）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 804千円 実施状況 : 医療救護所5か所の医薬品等の管理更新
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 1,122千円 実施状況 : 医療救護所5か所の医薬品等の管理更新
 ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 1,328千円 実施状況 : 医療救護所5か所の医薬品等の管理更新
 ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 1,328千円 実施状況 : 医療救護所5か所の医薬品等の管理更新

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 医療救護所5か所の医薬品等の管理更新。医薬品等の一部（内用薬、外用薬）の管理更新については、薬剤師会に委託。
- ・令和7年度 医療救護所5か所の医薬品等の管理更新。医薬品等の一部（内用薬、外用薬）の管理更新については、薬剤師会に委託。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

使用期限を迎えた備蓄医薬品等の廃棄を減らすため、薬剤師会と協力し、入替管理に努めている。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

医療救護所5か所の医薬品等の管理更新を行うとともに、医薬品等の一部（内用薬、外用薬）の管理更新を薬剤師会に委託。

また、災害時に避難所に避難してくる人や在宅している人を保健師が訪問する時に使用する物品を購入し、適切な管理を

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	020	救急医療事業費	事業 3	004	災害時医療対策費

行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

災害時訪問用物品を購入することによる増。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和6年度 なし

令和7年度 なし

令和8年度 2セット

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

災害時、医療救護所に配置される職員が備蓄医薬品の点検を定期的に行い、引き続き適切な管理に努める。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

・予算計上額（うち一般財源）1,328千円（1,328千円）

・内 容 医療救護所の物品を適切に管理することで、発災時でも適切な医療を受けられる体制を維持し、市民が安心して医療を受けられるように努める。

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	020	救急医療事業費	事業 3	005	薬剤師会薬局運営費補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・ 目 的 休日及び平日夜間に調剤事業を行うことにより、救急医療の適切な水準を確保する。
- ・ 内 容 NPO法人秦野市薬剤師会が秦野市薬剤師会薬局において実施する調剤事業に対して補助を行う。
- ・ SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・ 効 果 秦野市薬剤師会薬局の運営費を一部補助することで、休日及び平日夜間でも市民は院外処方してもらうことができるようになる。
- ・ 目 標 値 感染症等流行時にも対応できる救急医療体制の確保

(3) 根拠法令・計画等

- ・ 根拠法令 該当なし
- ・ 計 画 第8次神奈川県保健医療計画

2 全体計画[P]

- ・ 全体計画 事業費 :
- ・ 令和6年度決算 事業費（進捗率）：9,800千円 実施状況 : 通年
- ・ 令和7年度予算 事業費（進捗率）：9,800千円 実施状況 : 通年
- ・ 令和8年度予算 事業費（進捗率）：9,800千円 実施状況 : 通年
- ・ 令和9年度以降 事業費（進捗率）：9,800千円 実施状況 : 通年

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・ 令和6年度 秦野市特定非営利活動法人秦野市薬剤師会薬局運営費補助金交付要綱に基づき、秦野市薬剤師会に補助金を交付した。
- ・ 令和7年度 秦野市特定非営利活動法人秦野市薬剤師会薬局運営費補助金交付要綱に基づき、秦野市薬剤師会に補助金を交付した。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

薬局運営は感染症の流行に影響を受けやすいが、休日夜間急患診療所と連携し、救急医療の一端を担っている。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

救急医療の適切な水準及び通年の救急医療体制の確保のため、引き続き、補助金を交付する。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	020	救急医療事業費	事業 3	005	薬剤師会薬局運営費補助金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由
増減なし

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和5年度交付額実績 9,800千円
令和6年度交付額実績 9,800千円
令和7年度交付額実績 9,800千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

地域の医療拠点である休日夜間急患診療所と連携していることから、地域医療の充実に向けて、引き続き、薬剤師会、医師会及び関係機関と連携し、取り組んでいく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
(2) 自然災害対策への取組
該当なし
(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業2	020	救急医療事業費	事業3	006	休日夜間急患診療所等整備費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 休日夜間急患診療所の建替えにより、休日・夜間における診療体制を維持し、地域医療体制の充実を図る。
- ・内容 医師会が中心となり設置した建設委員会において、三師会と連携しながら、老朽化した休日夜間急患診療所等の建替えを進める。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 休日夜間急患診療所の建替えにより、将来にわたり、初期救急医療として、市民に求められる医療を安定的に提供できるセーフティネットの役割を果たす。
- ・目標値 365日の初期救急医療体制の確保

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 第8次神奈川県保健医療計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 千円 実施状況 : 整備検討会を設置し、施設整備の方向性を検討
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 15,330千円 実施状況 : 建設候補地（緑町市有地）の地盤調査等の実施
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 30,576千円 実施状況 : 秦野市休日夜間急患診療所等整備支援事業補助金
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 80,000千円 実施状況 : 秦野市休日夜間急患診療所等整備支援事業補助金

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 三師会等と整備検討会を設置し、施設整備の方向性を整備方針としてまとめた。
- ・令和7年度 整備方針に基づき、建設候補地の緑町市有地において地盤調査等を行い、適正地であることを確認した。
この結果を踏まえ、当該地を正式な建設地として決定し、本市と三師会の4者で基本合意を締結した。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

医師会を中心に設置した建設委員会において、施設の機能・規模等を協議し、施行事業者を選定するため、公募型プロポーザルを実施したが、物価や人件費の高騰などの影響により申込がなく、市内事業者を対象とした指名型プロポーザルに変更し、再度公告したところ、2者からの申込があった。今後は審査会等を経て事業者を決定し、令和9年度の末の完成を目指す。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	020	救急医療事業費	事業 3	006	休日夜間急患診療所等整備費

事業者において土地造成設計、建物の基本・実施設計と進み、設計が終わり次第、造成工事、建築工事に着手する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

建設等の費用の一部（土地の造成費相当分）を補助金として支出するため増額
事業区域内の上下水道管撤去に伴い、事業区域外の機能回復工事に係る負担金を支出のため増額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和6年度実績：休日夜間急患診療所等整備検討会の開催 5回（市主催）
令和7年度実績：休日夜間急患診療所等建設委員会の開催 4回（医師会主催）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

早期の施設整備により、休日・夜間の診療体制を維持するとともに、地震などの災害や新たな感染症に備えることで、地域医療体制の充実を図る。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	030	保健衛生関係助成金	事業 3	001	公衆衛生協会補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 公衆衛生思想の普及啓発、公衆衛生に関する団体活動の支援等により、地域の公衆衛生の向上を図る。
- ・内容 秦野伊勢原地区の公衆衛生の推進を図るため、公衆衛生協会への補助を行う。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 地域住民の公衆衛生意識の向上及び推進が図られている。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：24千円
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：24千円
 ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：24千円
 ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：24千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 秦野伊勢原地区の公衆衛生の推進を図るため、公衆衛生協会に補助金を交付した。
- ・令和7年度 秦野伊勢原地区の公衆衛生の推進を図るため、公衆衛生協会に補助金を交付した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

公衆衛生協会に補助金を交付することで、地域の公衆衛生の向上につながった。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への実施等）[A]

市民が自主的に組織する多くの公衆衛生普及団体の維持及び活動支援のため、引き続き、補助金を交付する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
増減なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	030	保健衛生関係助成金	事業 3	001	公衆衛生協会補助金

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
伊勢原市と共同で行っており、協議の上同額とした。（交付基準額）
令和4年度交付額 24千円
令和5年度交付額 24千円
令和6年度交付額 24千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

補助事業団体の活動支援を行うことで、市民が自主的に組織する多くの公衆衛生普及団体の維持及び活動支援につながり、公衆衛生の推進が図られることから、継続的な補助が必要である。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
(2) 自然災害対策への取組
該当なし
(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	030	保健衛生関係助成金	事業 3	002	食品衛生協会補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 食品衛生の知識向上、衛生管理の強化推進により、地域の食品衛生の向上を図る。
- ・内容 秦野伊勢原地区の食品衛生の推進を図るため、食品衛生協会に対する補助を行う。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 食品衛生の知識向上、営業者の自主管理の強化推進を図ることにより、食品の安全性が確保される。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：100千円
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：100千円
 ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：100千円
 ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：100千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 秦野伊勢原地区の食品衛生の推進を図るため、食品衛生協会に補助金を交付した。
- ・令和7年度 秦野伊勢原地区の食品衛生の推進を図るため、食品衛生協会に補助金を交付した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

食品衛生協会に補助金を交付することで、食品衛生協会思想の普及向上、自主管理体制の推進事業の実施による食中毒・感染症等の発生防止など、地域の食品衛生の向上から、市民の食の安全確保につながった。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

地域における食品衛生思想の普及向上のため、引き続き、補助金を交付する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	030	保健衛生関係助成金	事業 3	002	食品衛生協会補助金

増減なし

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
伊勢原市との共同で行っており、協議の上同額とした。（交付基準額）
令和4年度交付額 100千円
令和5年度交付額 100千円
令和6年度交付額 100千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

食中毒等の飲食に起因する食品衛生上の危害の発生を防止し、食品衛生の普及啓発を推進する必要があることから、補助事業団体の維持及び活動支援のための継続的な補助が必要である。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	030	保健衛生関係助成金	事業 3	003	薬物乱用防止指導員協議会補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 薬物乱用防止の普及啓発に努め、地域社会の薬物乱用防止を推進する。
- ・内容 秦野伊勢原地区の薬物乱用防止の推進を図るため、薬物乱用防止指導員協議会への補助を行う。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 薬物乱用防止対策の充実が図られている。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：30千円
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：30千円
 ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：30千円
 ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：30千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 秦野伊勢原地区の薬物乱用防止の推進を図るため、薬物乱用防止指導員協議会に補助金を交付した。
- ・令和7年度 秦野伊勢原地区の薬物乱用防止の推進を図るため、薬物乱用防止指導員協議会に補助金を交付した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

薬物乱用防止指導員協議会に補助金を交付することで、地域において薬物乱用防止に関する普及啓発活動が実施され、市民の安全・安心の確保につながった。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への実施等）[A]

地域における薬物乱用防止の推進のため、引き続き、補助金を交付する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	030	保健衛生関係助成金	事業 3	003	薬物乱用防止指導員協議会補助金

増減なし

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
伊勢原市との協議により30千円を補助額とした。
令和4年度交付額 30千円
令和5年度交付額 30千円
令和6年度交付額 30千円

- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
地域において、薬物乱用防止の普及啓発及び市民の安全確保につなげるため、補助を継続する必要がある。

- 8 その他
(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
(2) 自然災害対策への取組
該当なし
(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月19日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月19日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	040	秦野赤十字病院支援事業費	事業 3	001	秦野赤十字病院整備支援事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 秦野赤十字病院は、公的医療機関として、二次救急の医療体制の確保や災害時拠点病院等、地域医療を担う病院であることから、補助するもの。
- ・内容 秦野赤十字病院が立野台に新築移転するに当たり、病院整備の建設費及び医療機器購入費に係る金融機関からの借入金に対する元利償還金に対する補助
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 秦野赤十字病院の病院機能の整備が図られる。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：118,008千円 実施状況 : 秦野赤十字病院整備支援事業費
 （建物・医療機器分）補助金の交付
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：100,371千円 実施状況 : 秦野赤十字病院整備支援事業費
 （建物・医療機器分）補助金の交付
 ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：80,391千円 実施状況 : 秦野赤十字病院整備支援事業費
 （建物・医療機器分）補助金の交付
 ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 秦野赤十字病院の病院機能の整備に対して支援
- ・令和7年度 秦野赤十字病院の病院機能の整備に対して支援

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

小児科医師の確保による、救急医療体制の強化

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月19日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	040	秦野赤十字病院支援事業費	事業 3	001	秦野赤十字病院整備支援事業費

平成13年度から行ってきた立野台への新築移転に伴う借入金に対する元利償還金への補助の最終年度

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

秦野赤十字病院建設資金借入金償還計画表に基づき実施。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和4年度実績 122,844千円

令和5年度実績 121,101千円

令和6年度実績 118,008千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

平成13年度から行ってきた立野台への新築移転に伴う借入金に対する元利償還金への補助の最終年度

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月19日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月19日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	040	秦野赤十字病院支援事業費	事業 3	002	秦野赤十字病院小児医療体制強化支援事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 地域医療の充実・強化及び子育て支援
- ・内容 秦野赤十字病院における小児科の医療提供体制の強化のため、診療に必要な整備に対する支援を行う。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 秦野赤十字病院の機能強化により、市内医療機関における小児二次救急診療の受入れの再開につながる。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 19,782千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 25,000千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 25,000千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 秦野赤十字病院との協議、小児医療に対する整備に対して支援
- ・令和7年度 秦野赤十字病院との協議、小児医療に対する整備に対して支援

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

小児科医師の不足により、平成29年度から秦野赤十字病院における小児科の入院及び救急診療が休止されていたが、小児科医師の増員により、令和3年4月より小児救急の受入れを曜日等を限定して再開している。
小児救急の拡充を図ることで、本市の地域医療の充実・強化につなげていく必要がある。
令和9年度以降の支援について協議する必要がある。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

秦野赤十字病院の小児医療体制の強化に対する補助の最終年度

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月19日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	040	秦野赤十字病院支援事業費	事業 3	002	秦野赤十字病院小児医療体制強化支援事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
増減なし
小児医療強化支援事業（支払）計画書に基づき実施
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和4年度 25,000千円
令和5年度 25,000千円
令和6年度 19,782千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

市内小児科医の高齢化により小児科診療所が不足しているため、市民が身近な場所で適切な医療が受けられるよう、支援の在り方を協議していく。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

所属	0135400000		健康づくり課				前々年度決算額		前年当初額		要求額		査定額		増減額		出力段階		現段階	
会計	01	一般会計						885,191		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012		目的	20 衛生費	
款	04	衛生費						832,813		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012			05 保健衛生費	
項	01	保健衛生費						832,813		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012				
目	01	保健衛生総務費						353,759		367,051		403,752		376,647		9,596				
事業1	043	01040101						353,759		367,051		403,752		376,647		9,596		補単区分	単独	
事業2	050	中野健康センター管理運営費						37,811		26,473		28,019		27,527		1,054		臨経区分	経常経費	
事業3	001	中野健康センター管理運営費						37,811		26,473		28,019		27,527		1,054		主要事業	非主要	
事業性質区分	政策的経費事業		重点ヒアリング	対象外	主体区分	市	連結区分1					連結区分2					連結区分3			
新規継続	継続		ハード事業		評価対象	対象外	事業区分1					事業区分2					事業区分3			

区 分	財 源 内 訳						計
	特 定 財 源					一般財源	
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料・手数料	その他		
前年度予算額	0	0	0	1,738	33	24,702	26,473
本年度予算額	0	0	0	1,775	33	25,719	27,527
増減額	0	0	0	37	0	1,017	1,054
構成比(%)	0.0	0.0	0.0	6.5	0.1	93.4	100.0

[illegible][illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	050	中野健康センター管理運営費	事業 3	001	中野健康センター管理運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市民が利用しやすい健康増進施設はもとより地域のふれあいの場として、適正な施設の管理運営及び維持管理を行う。
- ・内容 中野健康センターの適正な運営及び維持管理
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 市民の健康増進及び運動習慣の確立並びに地域コミュニティの醸成
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市中野健康センター条例、秦野市中野健康センター条例施行規則
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 37,811千円
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 26,473千円
 ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 27,527千円
 ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 27,527千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 照明設備更新工事（LED）
- ・令和7年度 トレーニング機器及び運動処方システム新規入替

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

健康増進施設としての魅力向上を図り、利用者の増加を図る。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への実施等）[A]

- ・適正な施設の運営及び維持管理を行う。
- ・藤棚等が老朽化しているため修繕を行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	050	中野健康センター管理運営費	事業 3	001	中野健康センター管理運営費

老朽化している藤棚等を修繕することによる増額。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・ 令和5年度決算 修繕料 683千円
- ・ 令和6年度決算 修繕料 871千円
- ・ 令和7年度予算 修繕料 722千円
- ・ 令和8年度予算 修繕料 2,561千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

市民の健康増進と交流促進のための施設として、利用者目線に立って、施設の利便性の向上を図る。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	060	秦野市医師会看護師修学等資金貸与事業補助金	事業 3	001	秦野市医師会看護師修学等資金貸与事業補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 将来、秦野市内の医療機関において、看護師、准看護師又は助産師の業務に従事する有能な人材を確保し、看護師不足が原因による入院病棟の一部閉鎖、病院付属看護学校等の閉鎖、夜勤従事看護師の慢性的な人手不足を解消する。
- ・内容 看護学校等の養成機関に入学する又は在学する者に対し、入学資金及び修学資金を貸与する。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 養成機関卒業後、常勤職員として市内医療機関において、修学資金貸与期間に1年を加算した期間、看護等の業務に従事したときは、修学資金の返済が免除されることから、市内医療機関に就職する看護師等が増加する。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：2,480千円
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：2,310千円
 ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：1,480千円
 ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：1,480千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 秦野市医師会と協力し、周辺の看護学校等に対して周知活動（ホームページ、広報等）を行った。
- ・令和7年度 秦野市医師会と協力し、周辺の看護学校等に対して周知活動（ホームページ、広報等）を行った。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

高等学校卒業後、現役で看護学校等へ進学した者からの申し込みが少ないため、高等学校への周知が不十分である。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

秦野市医師会と協力し、周辺の看護学校等に対して周知活動を行う。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	060	秦野市医師会看護師修学等資金貸与事業補助金	事業 3	001	秦野市医師会看護師修学等資金貸与事業補助金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

継続貸与者及び新規見込者数の減少に伴う減額。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和5年度新規申込者実績 7名 継続数 10名

令和6年度新規申込者実績 4名 継続数 9名

令和7年度新規申込者実績 2名 継続数 4名

令和8年度新規申込者見込 5名 継続数 1名

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

貸与希望者を増やすため、秦野市医師会と協議しながら貸与希望者の増加、看護師の確保に努める必要がある。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	070	自動体外式除細動器（A E D）管理費	事業 3	001	自動体外式除細動器（A E D）管理費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 自動体外式除細動器（AED）を市内公共施設等に設置する。
- ・内容 医療従事者でなくとも使用可能な自動体外式除細動器（AED）を市内公共施設等へ設置することで、緊急時に備える。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 市民や来訪者の生命の安全と安心の確保
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 4,055千円 実施状況 : 公共施設への設置及び管理
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 4,129千円 実施状況 : 公共施設への設置及び管理
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 4,337千円 実施状況 : 公共施設への設置及び管理
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 4,337千円 実施状況 : 公共施設への設置及び管理

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 AEDの日常点検を施設所管課へ依頼するなど適切に使用できるように周知を図るとともに、全92台のAEDの賃貸借に係る支払い処理を実施する。
- ・令和7年度 契約が満了となるAEDについて、引き続き、4月から45か月間の賃貸借契約を行い、他契約の期間と合わせる。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

- ・現在設置されている施設や周辺施設の設置状況を踏まえ、適切な配置と維持管理を行う。
- ・新たな施設に導入したことにより、賃貸借契約が6つに分かれているため、支払い事務や維持管理が煩雑化している。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

- 現在設置されている施設や周辺施設の設置状況を踏まえ、適切な配置と維持管理を行う。
- ・5月末に契約満了になるAED2台の契約更新を行う。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	070	自動体外式除細動器（A E D）管理費	事業 3	001	自動体外式除細動器（A E D）管理費

・7月以降に開設する「はだのスポーツビレッジ」にAEDを1台設置する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・新たにAEDを設置する公共施設（はだのスポーツビレッジ）があるため増額
- ・令和7年度に配備した三角巾の追加購入のため増額。
- ・例年購入する除細動パッドを2枚に削減したため、減額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和4年度 合計92台

令和5年度 合計92台

令和6年度 合計92台

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

市内における救急医療体制及び病院前救護体制の充実・強化を図るため、事業の継続実施が必要である。
設置基準に基づき、引き続き適切なAEDの維持・管理を行う。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

[illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	080	産科医療支援事業費補助金	事業 3	001	産科医療支援事業費補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 産科医等の処遇を改善することで、市内で従事する産科医及び産婦人科医の確保を図る。
- ・内容 市内に所在する分娩施設に対して産科医師等分娩手当を補助する。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を
17 パートナースhipで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 市内の分娩施設に対して補助をすることで、経営の安定化を図り、地域における安全・安心な周産期医療体制の確保を図ることができる。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 地域医療介護総合確保促進法に基づく神奈川県計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：1,653千円 実施状況：分娩件数491件
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：2,000千円 実施状況：分娩件数770件（見込）
 ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：2,940千円 実施状況：分娩件数882件
 ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：2,940千円 産科医師分娩手当補助金の交付

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 1施設に補助（分娩件数491件）
- ・令和7年度 1施設に補助（分娩見込件数770件）

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

対象としている分娩施設が新たに開院して2年経過し、経営の安定化が求められる。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

1施設に補助（分娩見込件数882件）

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8 年 2 月 17 日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	080	産科医療支援事業費補助金	事業 3	001	産科医療支援事業費補助金

秦野市民をはじめ、周辺自治体からの利用者也順調に増加しているため増額。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和5年度分娩件数実績 84件

令和6年度分娩件数実績 491件

令和7年度分娩件数見込 770件

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

産科医及び産婦人科医の確保のため、補助を継続していく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月18日

(単位：千円)

所属	0135400000		健康づくり課				前々年度決算額		前年当初額		要求額		査定額		増減額		出力段階		現段階	
会計	01	一般会計						885,191		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012		目的	20 衛生費	
款	04	衛生費						832,813		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012			05 保健衛生費	
項	01	保健衛生費						832,813		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012				
目	01	保健衛生総務費						353,759		367,051		403,752		376,647		9,596				
事業1	043	01040101						353,759		367,051		403,752		376,647		9,596		補単区分	単独	
事業2	090	自殺予防対策事業費						321		433		427		427		-6		臨経区分	臨時経費	
事業3	001	自殺予防対策事業費						321		433		427		427		-6		主要事業	非主要	
事業性質区分	政策的経費事業		重点ヒアリング	対象外	主体区分	市	連結区分1					連結区分2					連結区分3			
新規継続	継続		ハード事業	ソフト事業	評価対象	対象外	事業区分1					事業区分2					事業区分3			

区 分	財 源 内 訳						計
	特 定 財 源					一般財源	
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料・手数料	その他		
前年度予算額	0	224	0	0	0	209	433
本年度予算額	0	160	0	0	0	267	427
増減額	0	-64	0	0	0	58	-6
構成比 (%)	0.0	37.5	0.0	0.0	0.0	62.5	100.0

[illegible][illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	090	自殺予防対策事業費	事業 3	001	自殺予防対策事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 自殺対策基本法及び秦野市自殺対策計画に基づく自殺予防対策事業の推進
- ・内容 健康で生きがいを持って暮らすことのできる社会の実現と孤立しない・させない地域づくりを推進することで自殺者数をゼロにする。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 自殺者数の減少
- ・目標値 自殺死亡率をゼロに近づける

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 自殺対策基本法
- ・計画 自殺総合対策大綱、かながわ自殺対策計画、秦野市自殺対策計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 321千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 433千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 427千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 427千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 自殺対策計画の推進、自殺予防キャンペーンの実施、ゲートキーパー養成研修の開催
- ・令和7年度 自殺対策計画の推進、自殺予防キャンペーンの実施、ゲートキーパー養成研修の開催

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

全国の自殺者の傾向と本市の自殺者の現状を踏まえ、女性・若年層・勤労者・高齢者などリスクの高い者への対策強化が必要である。ハイリスク者への支援を踏まえ、第2期自殺対策計画に基づき事業を開催する。

5 令和8年度の実施内容（課題解決への取組等）[A]

自殺対策推進委員会及び庁内連絡会議による事業の進行管理、ゲートキーパー養成研修の開催、自殺予防キャンペーンの実施

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月18日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	090	自殺予防対策事業費	事業 3	001	自殺予防対策事業費

(1) 増減理由
令和7年3月に委員の改選を行い、報酬が必要となる委員が減ったことによる減額。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
報酬が必要な委員数
令和6年度 9人（全12人）
令和7年度 9人（全12人）
令和8年度 7人（全12人）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
第2期秦野市自殺対策計画に基づく自殺予防対策事業の推進

8 その他
(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
(2) 自然災害対策への取組
該当なし
(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	120	保健衛生事務費	事業 3	001	保健衛生事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 保健衛生事業に必要な物品の購入及び傷害保険の加入などを行い、保健衛生事業の充実を図る。
- ・内容 保健衛生事業全体に係る事務を行う。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 保健衛生事業の充実が図られる。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 9,031千円
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：11,252千円
 ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：15,760千円
 ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：15,760千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 骨髄等移植ドナー支援助成金の交付のほか、保健衛生事業に必要な事務を実施
有識者の助言・指導等を得て、女性と子どもの健康課題解決に向けた取組の実施
- ・令和7年度 骨髄等移植ドナー支援助成金の交付のほか、保健衛生事業に必要な事務を実施
有識者の助言・指導等を得て、女性と子どもの健康課題解決に向けた取組の実施

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

効果的で効率的な市民への啓発等の実施

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・会計年度任用職員（事務補助員）の給与等の支払い
- ・外国籍市民への医療費補助、骨髄等移植ドナー及び若年がん患者在宅療養への支援の実施
- ・ME-BY0サミット神奈川への参加
- ・有識者の助言・指導等を得て、女性と子どもの健康課題解決に向けた取組の実施

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	01	保健衛生総務費	事業 1	043	0 1 0 4 0 1 0 1
事業 2	120	保健衛生事務費	事業 3	001	保健衛生事務費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・会計年度任用職員の時給の上昇に伴う増額
- ・参考書籍単価の値上がりによる増額
- ・若年がん患者在宅療養支援制度の創設による増額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

会計年度任用職員（事務補助員）の時給：令和6年度1,169円又は1,194円、令和5年度1,078円又は1,087円、令和4年度1,044円

会計年度任用職員（事務補助員）の手当：令和6年度745,674円又は761,624円、令和5年度745,187円、令和4年度471,330円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

保健衛生事業全体に係る事務を行い、保健衛生事業の充実を図っていく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

所属	0135400000		健康づくり課				前々年度決算額		前年当初額		要求額		査定額		増減額		出力段階		現段階	
会計	01	一般会計						885,191		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012		目的	20 衛生費	
款	04	衛生費						832,813		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012			05 保健衛生費	
項	01	保健衛生費						832,813		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012				
目	02	予防費						479,054		602,432		734,216		692,848		90,416				
事業1	044	01040102						479,054		602,432		734,216		692,848		90,416		補単区分	単独	
事業2	020	成人健康診査費						251,823		261,425		269,303		268,034		6,609		臨經区分	経常経費	
事業3	001	成人健康診査費						251,823		261,425		269,303		268,034		6,609		主要事業	非主要	
事業性質区分	政策的経費事業		重点ヒアリング	対象外	主体区分	市	連結区分1					連結区分2					連結区分3			
新規継続	継続		ハード事業	ソフト事業	評価対象	対象外	事業区分1		2-3-1			事業区分2					事業区分3			

区 分	財 源 内 訳						計
	特 定 財 源					一般財源	
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料・手数料	その他		
前年度予算額	477	3,605	0	0	89,077	168,266	261,425
本年度予算額	486	3,766	0	0	99,447	164,335	268,034
増減額	9	161	0	0	10,370	-3,931	6,609
構成比(%)	0.2	1.4	0.0	0.0	37.1	61.3	100.0

[illegible][illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	02	予防費	事業 1	044	0 1 0 4 0 1 0 2
事業 2	020	成人健康診査費	事業 3	001	成人健康診査費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・ 目 的 多くの市民が市民健康診査及びがん検診を受診することで、生活習慣病の予防及び疾病の早期発見・早期治療につなげ、健康寿命の延伸を目指す。
- ・ 内 容 「健康増進法」及び「第5期秦野市健康増進計画（健康はだの21）」に基づき、生活習慣病の予防及びがんの早期発見・早期治療のための健康診査やがん検診等を実施する。
- ・ SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・ 効 果 市民の健康保持及び疾病の早期発見・早期治療により、高額医療費の抑制を図る。
- ・ 目 標 値 がん検診受診率50%（職域を含む。）

(3) 根拠法令・計画等

- ・ 根拠法令 健康増進法
- ・ 計 画 第5期秦野市健康増進計画（健康はだの21）

2 全体計画[P]

- ・ 全体計画 事業費 :
- ・ 令和6年度決算 事業費（進捗率）：251,823千円 実施状況 : 市民健康診査、がん検診等の実施
- ・ 令和7年度予算 事業費（進捗率）：261,425千円 実施状況 : 市民健康診査、がん検診等の実施
- ・ 令和8年度予算 事業費（進捗率）：268,034千円 実施状況 : 市民健康診査、がん検診等の実施
- ・ 令和9年度以降 事業費（進捗率）：268,034千円 実施状況 : 市民健康診査、がん検診等の実施

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・ 令和6年度 ・ 市民健康診査とがん検診の同時受診を実施することで、受診率及び市民の利便性の向上を図り、生活習慣病予防及び疾患の早期発見・早期治療を促進する。
イベント等での乳がん自己触診及びがん検診に対する知識の普及啓発のほか、秦野商工会議所で実施している乳がん検診及び子宮頸がん検診を市のがん検診として位置づけることで、女性特有のがんの検診受診率向上に取り組んでいる。
- ・ 令和7年度 ・ 市民健康診査とがん検診の同時受診を実施することで、受診率及び市民の利便性の向上を図り、生活習慣病予防及び疾患の早期発見・早期治療を促進する。
イベント等での乳がん自己触診及びがん検診に対する知識の普及啓発のほか、秦野商工会議所で実施している乳がん検診及び子宮頸がん検診を市のがん検診として位置づけることで、女性特有のがんの検診受診率向上に取り組んでいる。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	02	予防費	事業 1	044	0 1 0 4 0 1 0 2
事業 2	020	成人健康診査費	事業 3	001	成人健康診査費

- 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）〔C〕
 - ・女性特有のがんの検診受診率向上のため、がん及びがん検診に対する知識の普及啓発の強化とともに、受診しやすい環境の整備
 - ・精密検査受診率の向上に向けた取組の強化
- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕
 - ・働く世代の女性などが検診を受診しやすいよう、引き続き土曜日や日曜日に女性のみの検診日を設けるほか、予約制の乳がん検診は予約枠の拡大を行う。
 - ・要精密検査者の早期受診につなげるため、受診勧奨を行う。
 - ・システムの標準化に合わせ複合受診券のデザインをA4サイズにし、持ち運びがしやすいものにする。
- 6 要求額の増減理由・根拠〔A〕
 - (1) 増減理由
後期高齢者健康診査受診者が増加することを見込むことによる委託料の増。
 - (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 令和5年度（決算） 7,407人 86,854,482円
 令和6年度（決算） 8,225人 96,446,350円
 令和7年度（見込） 8,338人 98,505,132円
 令和8年度（予算） 8,850人 104,553,900円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕
引き続き、市民健康診査やがん検診の受診率向上に取り組むとともに、健診結果等の適切なデータ管理を行う。また、健診結果に基づき、個人に合わせた健康づくりの支援を行う。
- 8 その他
 - (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
 - (2) 自然災害対策への取組
該当なし
 - (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8年 2月17日

(単位：千円)

所属	0135400000		健康づくり課				前々年度決算額		前年当初額		要求額		査定額		増減額		出力段階		現段階	
会計	01	一般会計						885,191		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012		目的	20 衛生費	
款	04	衛生費						832,813		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012			05 保健衛生費	
項	01	保健衛生費						832,813		969,483		1,137,968		1,069,495		100,012				
目	02	予防費						479,054		602,432		734,216		692,848		90,416				
事業1	044	01040102						479,054		602,432		734,216		692,848		90,416		補単区分	単独	
事業2	030	感染症等予防事業費						227,231		341,007		464,913		424,814		83,807		臨経区分	経常経費	
事業3	002	感染症対策事業費						227,231		341,007		464,913		424,814		83,807		主要事業	非主要	
事業性質区分	政策的経費事業		重点ヒアリング	対象外	主体区分	市	連結区分1					連結区分2					連結区分3			
新規継続	継続		ハード事業	ソフト事業	評価対象	対象外	事業区分1		2-3-1			事業区分2					事業区分3			

区 分	財 源 内 訳						計
	特 定 財 源					一般財源	
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料・手数料	その他		
前年度予算額	1,572	79	0	0	0	339,356	341,007
本年度予算額	125,941	72	0	0	0	298,801	424,814
増減額	124,369	-7	0	0	0	-40,555	83,807
構成比(%)	29.7	0.0	0.0	0.0	0.0	70.3	100.0

[illegible][illegible]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	02	予防費	事業 1	044	0 1 0 4 0 1 0 2
事業 2	030	感染症等予防事業費	事業 3	002	感染症対策事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市民の感染症の蔓延防止を図り、特に予防接種法に基づく高齢者を対象とした予防接種助成事業を実施する。
- ・内容 市民の感染症の蔓延を防止し、特に高齢者の感染症の発症及びその重症化の予防を図る。
- ・SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

(2) 効果・目標値

- ・効果 市民の感染症の蔓延を防止し、特に高齢者の感染症の発症及びその重症化の予防が図られる。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 予防接種法、秦野市高齢者予防接種助成事業実施要綱
- ・計画 総合計画（基本施策111 健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：227,231千円 実施状況 : 高齢者予防接種助成事業の実施
予防接種健康被害調査委員会の開催
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：341,007千円 実施状況 : 高齢者予防接種助成事業の実施
予防接種健康被害調査委員会の開催
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：424,814千円 実施状況 : 高齢者予防接種助成事業の実施
予防接種健康被害調査委員会の開催
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：424,814千円 実施状況 : 高齢者予防接種助成事業の実施

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度
 - ・定期予防接種(B類疾病)として、65歳の方へ高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種助成事業を実施し、65歳以上及び60～64歳の該当者を対象に、高齢者インフルエンザ予防接種助成事業及び高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種事業を実施。
 - ・定期予防接種の助成対象者が委託外医療機関で予防接種を受けたときの助成を実施。
 - ・秦野市予防接種健康被害調査委員会を開催し、予防接種による健康被害発生に際し当該事例について、医学的な見地からの調査を実施。
- ・令和7年度
 - ・定期予防接種(B類疾病)として、65歳の方へ高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種助成事業を実施し、65歳以上及び60～64歳の該当者を対象に、高齢者インフルエンザ予防接種助成事業及び高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種事業を実施。また、当該年度に65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100歳及び101歳以上になる市

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0135400000	健康づくり課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	01	保健衛生費
目	02	予防費	事業 1	044	0 1 0 4 0 1 0 2
事業 2	030	感染症等予防事業費	事業 3	002	感染症対策事業費

民を対象に高齢者带状疱疹予防接種を実施。

・秦野市予防接種健康被害調査委員会を開催し、予防接種による健康被害発生に際し当該事例について、医学的な見地からの調査を実施するとともに、予防接種健康被害が認定されている方への給付金の支給。

- 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）〔C〕
 - ・感染症全般の状況を踏まえ、引き続き市民への適切な情報提供等が必要。
- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）〔A〕
 - ・高齢者インフルエンザ予防接種助成事業の実施。
 - ・高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種助成事業の実施。
 - ・高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種助成事業の実施。
 - ・高齢者带状疱疹ワクチン予防接種助成事業の実施。
 - ・秦野市予防接種健康被害調査委員会の開催。
 - ・予防接種健康被害救済給付金の支給。
- 6 要求額の増減理由・根拠〔A〕
 - (1) 増減理由

進達中の予防接種健康被害が認定されることを見込むことによる増額。
 - (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和7年度支給人数 2人
令和8年度支給見込人数 6人（うち、1人は継続、5人は認定見込）
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）〔A〕
 - ・感染症全般の状況を踏まえ、引き続き市民への適切な情報提供等を行う。
 - ・予防接種助成事業を通じて、感染症の予防及びその蔓延の防止に努めていく。
- 8 その他
 - (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし
 - (2) 自然災害対策への取組

該当なし
 - (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし